

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

愛媛県

（地域における現状・課題）

学校部活動の大きな課題として、①競技の専門性を備えた指導者の確保が困難、②休日指導等による教員の多忙化等が挙げられる。休日の部活動指導を地域の指導者に担っていただくことによって、教員の異動に影響されずに専門性を備えた指導体制の構築が可能になるとともに、休日の部活動指導における顧問教員の負担を軽減することができ、部活動の持続可能性が高まるものと考え、実践研究を実施したい。

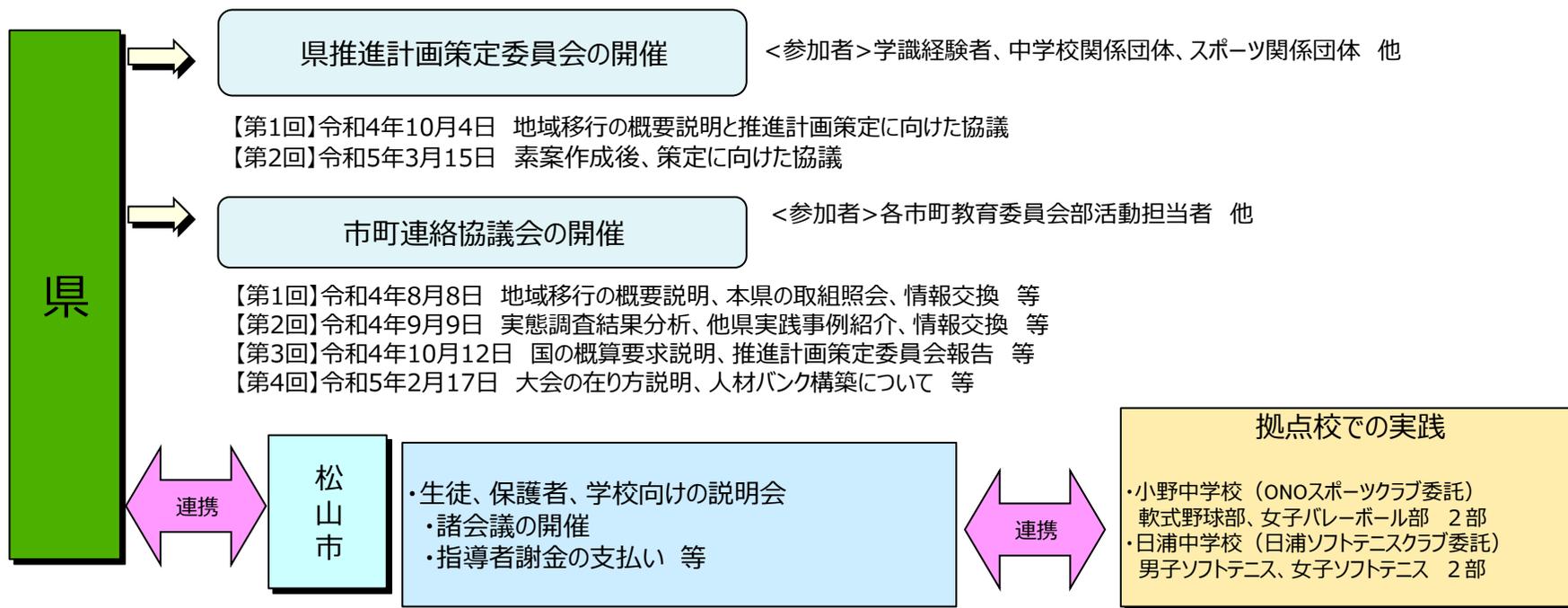
（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

- ・県推進計画策定委員会を2回実施し、県推進計画の素案を作成するとともに、来年度はじめの策定を目指す。
- ・市町連絡協議会を4回実施し、各市町の現状把握と他県の事例紹介などから、それぞれの地域の実態を確認した上で、システム構築に向けてグループワークを実施し、情報交換を行った。また、各市町でも課題としている大会の開催方法、保険、兼職兼業、総合型地域スポーツクラブの活用について説明し、共通理解を図った。

（実践研究の成果）

- ・県推進計画の素案作成後、3月実施の策定委員会にて検討し、R5年度はじめには策定予定。
- ・県内20市町の委員会設置状況（R4年度末時点）【準備委員会】17市町設置済、2市町（R5年度設置予定）
【検討委員会】1市設置済、17市町（R5年度設置予定）、1町（R6年度設置予定）

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

松山市

（地域における現状・課題）

休日指導等による教員の多忙化や指導者確保が困難な状況であり、①休日部活動における顧問教員・地域団体・スポーツ指導者の役割分担の明確化及び調整、②地域移行に伴う生徒や保護者、地域の理解、③平日の指導との一貫性を保護するための顧問教員の指導へのかかわり方、④地域移行した部活動と現行体制のままの部活動の格差の是正、⑤モデル事業実施後に恒久的に継続する上での費用負担の在り方等の課題が挙げられる。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：ONOスポーツクラブ、日浦ソフトテニスクラブ／松山市教育委員会

活動場所：小野中学校、日浦中学校

指導者：地域指導者、教員

移動手段：徒歩、自転車、車

責任主体：ONOスポーツクラブ、日浦ソフトテニスクラブ／松山市教育委員会

活動種目：ONOスポーツクラブ：軟式野球、女子バレーボール

日浦ソフトテニスクラブ：男女ソフトテニス

会費等：なし

保険：スポーツ安全保険：800円（生徒）、1,850円（指導者）

（実践研究の成果）

- 休日における地域部活動の回数（月あたり2回以上実施）及び顧問教員の休日の部活動指導時間の50%削減については目標を達成。

【小野中】休日の部活動指導全体における地域部活動の実施率は59.7%（軟式野球58.8%、女子バレー60.5%）、顧問教員の休日の部活動指導の減少率は53.3%（軟式野球55.6%、女子バレー51.1%）

【日浦中】休日の部活動指導全体における地域部活動の実施率は66.7%（ソフトテニス部66.7%）、顧問教員の休日の部活動指導の減少率は71.1%（ソフトテニス部教員71.1%）

- 令和5年3月13日開催の連携協議会で発表された生徒・保護者の意見では、将来の部活動移行に費用負担等の不安もあるが、今回実施した地域部活動に関しては、満足していることが確認できた。

（運営体制図）

